

No. 2 1	平成30年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	特定非営利活動法人こそだてシップ
事 業 名	赤ちゃんからの防災ママフェスタ
実 施 期 間	平成30年4月～平成31年3月
事 業 実 績	(1)「赤ちゃんからの防災ママフェスタ」の開催 開催月日：平成30年9月2日 10時～15時 開催場所：大船渡市防災観光交流センター 参加者数：来場者数300人前後 講師：①大船渡市消防士 ②新沼真弓氏（消防士） 実施内容：・地震と津波避難行動・乳幼児の緊急対応・災害支援車乗車体験 ・簡単防災グッズ作成・おんぶ抱っこ避難演習・防災グッズ展示 等 (2)防災強化月間開催 開催期間：平成31年1月23日～平成31年2月19日 10時～16時 開催場所：大船渡市子育て支援センター「すくすくルーム」 来場者数：425人（207家族） 実施内容：防災グッズの展示、紹介、説明。防災紙芝居。避難実技指導。
実 施 効 果 自 己 評 価	【実施効果】 1. 東日本大震災から7年が経過し、防災意識が薄れている日常で、災害リスクの高い地域に住む子育て世代や地域住民に、防災への取り組みが具体的に啓発される機会となった。 2. 防災の中で取り残されがちな「乳幼児の防災」対策を取り上げ、マスコミ報道やイベント開催で広くその重要性をアピールできた。 3. 地元では入手できない防災グッズ等を直接触れ、確認でき、スタッフの説明や紹介で自助努力の防災準備が推進された。 4. オープニングの「海の星幼稚園」楽隊の演奏に、父母が多数参加し事業成果につながった。 5. 防災月間として、常設の子育て支援室「すくすくルーム」で長期的に取り組み、利用者保護者に日常の育児と防災の自助努力の呼びかけができた。 【自己評価】 1. スタッフが一丸となり準備を整えたので、当日はアクシデントも無く、新しい会場で、安全、安心に開催できた。親子でふれあい、楽しめる場所や機会の少ない当地域なので、フェスティバルでの沢山の笑顔が印象的であった。アンケート結果からも好評だった。 2. 「乳幼児の防災」取り組みは、被災地の重要課題であるにも関わらず、地域の取り組みが希薄で、当法人の取り組みと伝承が益々重要との再認識に至った。 3. 講演は、日常生活からの視点、アドバイスでママたちが取り組みやすく、実際「買いました、準備しました」との声が後日届けられた。 4. 防災とママフェスタの同時開催は、好評かつ適切であったが地域の大きなイベントと重なった事や、天候不順で残念な部分もあった。 5. 防災強化月間は昨年以上にルーム内展示の充実を図り、スタッフも積極的に働きかけ、自助努力へ個別的に対応し関心も高かった。